

平成26年度下半期 水道事業の経営状況

平成26年度下半期(26年10月1日～27年3月31日)の業務と経理の状況をお知らせします。
 ☆詳しくは、水道部業務課☎543-6111へ。

給水人口と配水状況

●給水人口		25年度下半期 11万2791人 26年度下半期 11万2824人 (前年度比 33人 0.03%増)
●給水世帯		25年度下半期 5万1616世帯 26年度下半期 5万2165世帯 (前年度比 549世帯 1.1%増)
●配水量		25年度下半期 627万5260m ³ 26年度下半期 619万4380m ³ (前年度比 8万880m ³ 1.3%減)

※有収水量(料金の対象となる配水量)は603万6175m³です。

企業債(借入金)の推移

企業債とは水道施設の建設や改良事業のために借入れるお金のことです。下半期は、新たな企業債はなく、償還金6595万円(元金5682万円、利息913万円)を支払いました。

●現在高(元金)	
26年9月末	4億1127万円
27年3月末	3億5446万円
●給水人口1人当たりの現在高	
26年9月末	3651円
27年3月末	3142円

経理の状況(消費税抜き)

収益的収支 (水道料金などによる収入と家庭に水を送るために必要な経費)

【収入 8億8929万円】	【支出 8億4889万円】
営業収益 8億1420万円	営業費用 8億3967万円
水道料金による給水の収益	原水及び浄水費、配水及び給水費、設備修繕費、減価償却費など
営業外収益 7229万円	営業外費用 922万円
預金利息、下水道使用料受託徴収収益など	企業債の借入れ利息など
特別利益 280万円	
会計制度改正による賞与引当金(特別損失)の戻し入れ	

資本的収支 (古くなった水道施設の改良や新しい施設の設置のために必要な経費)

【収入 8895万円】	【支出 12億783万円】
負担金 8895万円	建設改良費用 11億5101万円
工事経費のうち市や企業が負担する分	配水管の布設工事費など
	※水道水の安定給水と有効利用や、災害に強い水道施設の整備のために、市道昭島28号配水管布設替工事や、西部配水場更新工事などを行いました。
	企業債償還金 5682万円
	企業債の元金

国民年金のお知らせ

◎7月は障害基礎年金現況届の提出月です

障害基礎年金を受給している方のうち、20歳前の病気やけがが原因で受給している方には、年金事務所から現況届が送付されます。7月31日までに市役所年金係へ提出してください。

提出が遅れると、年金の支払いが一時差し止められることがありますので、注意してください。

※診断書付きの現況届が送付された方は、医師の診断を受けてから提出してください。

※所得状況を確認するため、平成26年中の所得を未申告の方は申告してください。

※昭島市に住民登録のない方、27年1月2日以降に転入した方は、27年度の課税(非課税証明書を27年1月1日現在の住所から取り寄せて添付してください)。

◎退職(失業)による国民年金特例免除

特例免除とは、退職や失業により国民年金保険料の納付が困難になった場合に、保険料の納付が免除される制度です。

失業などがあった年から、免除・猶予は翌々年6月まで、学生納付特例は翌々年3月までの期間について、通常であれば審査の対象となる本人所得を除外して審査を行います。

配偶者、世帯主に一定以上の所得があるときは、免除が認められない場合があります。

◇対象 申請する年度または前年度に退職(失業)した方
 ◇申請 年金手帳、印鑑、雇用保険被保険者離職票または雇用保険受給資格者証などを持って、市役所年金係または東部出張所へ
 ☆詳しくは、年金係へ。